

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

224-697

事務事業名	市民プール維持管理事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	生涯学習・スポーツ課		包含する細々目	1	10	6	2	10	4	4,730
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり											
施策	26 スポーツの振興											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画条例等		スポーツ振興法(第12条施設の整備)、飯田市体育施設条例				
		事業期間	S35	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市民	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			107844	107000		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	市民プールを安全で快適にスポーツに利用できる	不具合の発生件数:(件)	18目標	最終目標		
			18実績	12	19目標	8
		23目標	5	23実績		最終目標達成年度
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	市民プールを管理する <参考> 細々目名: 市民プール管理運営事業費	市民プール運営・維持管理 7月第1土曜日～9月第1日曜日開場	営業日数 利用者数	56日 8,800人
	18年度の実績	市民プール運営・維持管理 7月第1土曜日～9月第1日曜日開場		
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	270	270
一般財源	4,551	4,460	
事業費計(A)	4,821	4,730	
人件費	正規職員所要時間	18年度 40	19年度 40
	臨時職員等所要時間	0	0
	人件費計(B)	143	143
	トータルコストA+B	4,964	4,873

特定財源内訳や補足事項	体育施設使用料
-------------	---------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	いつでも誰でもどこでも気軽にスポーツに親しむ 競技力が向上する	ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合:(%)	現状値	35.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	45
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 市民要望と市民保健体育向上に供するために建設昭和35年7月にオープンした。	事業を取り巻く状況の変化 建設より50年が経過し、施設の老朽化が進行している。 50mプールは濾過機の機能低下により平成17年より供用廃止、以後25mプールのみ供用 平成7年飯田市三日市場にアクアパークHIDAを建設。	事業に対する市民や議会の意見 ・市民プール跡地利用について多くの要望（イベント広場、駐車場、公園、親水プールなど） ・近隣の保育園、幼稚園から存続の意見
--------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 施設の維持管理により、安全で快適な施設の利用を提供することができる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がない (その理由) 当面は、現市民プールを現状維持していく以外に方策がない。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がある (その理由) 現施設は劣化が著しいため、中央市街地の再開発との調整により、今後の方針を早期に見極める必要がある。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) プール施設を有しない近隣の保育園・幼稚園の水泳施設がなくなり、スポーツの振興に大きな影響がある。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がある (その理由) 中央市街地の再開発との調整により、今後の方針を見極める必要がある。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 市所有の施設であり、管理責任を有する。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 不可能 (その理由) 電気・水道料・管理委託・小修繕など、ほぼ経常経費のみの事業である。
	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 公共施設の維持管理であるため、直接受益者から負担を求める事業には該当しないが、入場料を事業費に充当することは、妥当である。	公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	プールを有しない近隣保育園、幼稚園への対応

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	